



# 第26期 定時株主総会 招集ご通知

日時

2023年6月22日（木曜日）  
午前10時

場所

パレスホテル東京  
山吹（4階）  
東京都千代田区丸の内1-1-1

末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えのないようにご注意ください。  
本定時株主総会終了後、「経営近況報告会」を開催いたします。  
本定時株主総会および経営近況報告会は、インターネットでライブ配信（生中継）いたします。

## 目次

株主の皆様へ	1
経営成績について	2
配当金について	3
第26期定時株主総会招集ご通知 （添付書類）	4
事業報告	8
連結計算書類	34
株主総会参考書類	
第1号議案 取締役6名選任の件	36
第2号議案 補欠監査役1名選任の件	41

## 株主の皆様へ



代表取締役社長  
**朝倉 智也**

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当社は、「豊富で偏りのない投資情報の提供と、良質で安価な金融商品の提供を通じて、投資家一人一人の最適な資産形成に貢献する」ことを目的に、SBIホールディングス株式会社（当時はソフトバンク株式会社）と米国モーニングスター・インクとの合併企業として、1998年3月27日に設立されました。お陰様で、去る2023年3月27日をもちまして、創業25周年を迎えることが出来ました。現在の当社事業は、投信評価ならびに投資情報や運用関連ツールを提供する「ファイナンシャル・サービス事業」と公募ならびに私募の投資信託を提供する「アセットマネジメント事業」の2つの事業を展開しておりますが、2023年3月期における当社連結の売上高および営業利益に占める「アセットマネジメント事業」の構成比は約8割までに成長いたしました。

2024年1月から施行される「新NISA」制度やデフレからインフレの環境下において、今後は「貯蓄から投資、貯蓄から資産形成」の動きが一層進むものと考えております。そうした環境下におきまして、当社は今後、アセットマネジメント事業を積極的に推進していくことを考えており、一方、米国モーニングスター・インクは、日本を含む世界各国の事業を一体的に展開することを考え、これまでの両社の関係について協議をしてきました。

その結果、2023年3月30日をもちまして、「モーニングスター」ブランドを米国モーニングスター・インクに返還し、当社は返還の対価として80億円を受領することで合意いたしました。

ブランドの返還により、これまでの投信評価および投資情報の提供を中心としたファイナンシャル・サービス事業は、「ウエルスアドバイザー」のブランドに引き継がれ、これまでと変わらず、サービスの提供を行ってまいります。また、2023年3月29日に臨時株主総会を開催し、株主の皆様のご承認を得て、商号を「SBIグローバルアセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

2023年3月期は、お陰様で、経常利益および当期利益は14期連続の増益を達成し、過去最高益も更新いたしました。株主の皆様には、このたびのブランド返還による80億円の特別利益計上と、同時に設立25周年を迎えましたので、特別・記念配当の3円を加えて、1株当たり21円の年間配当をご提供することとなりました。

商号変更により、新たなスタートを切りましたが、引き続き「投資家の皆様の最適な資産形成に貢献する」ことに尽力し、当社の更なる企業価値拡大に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年5月

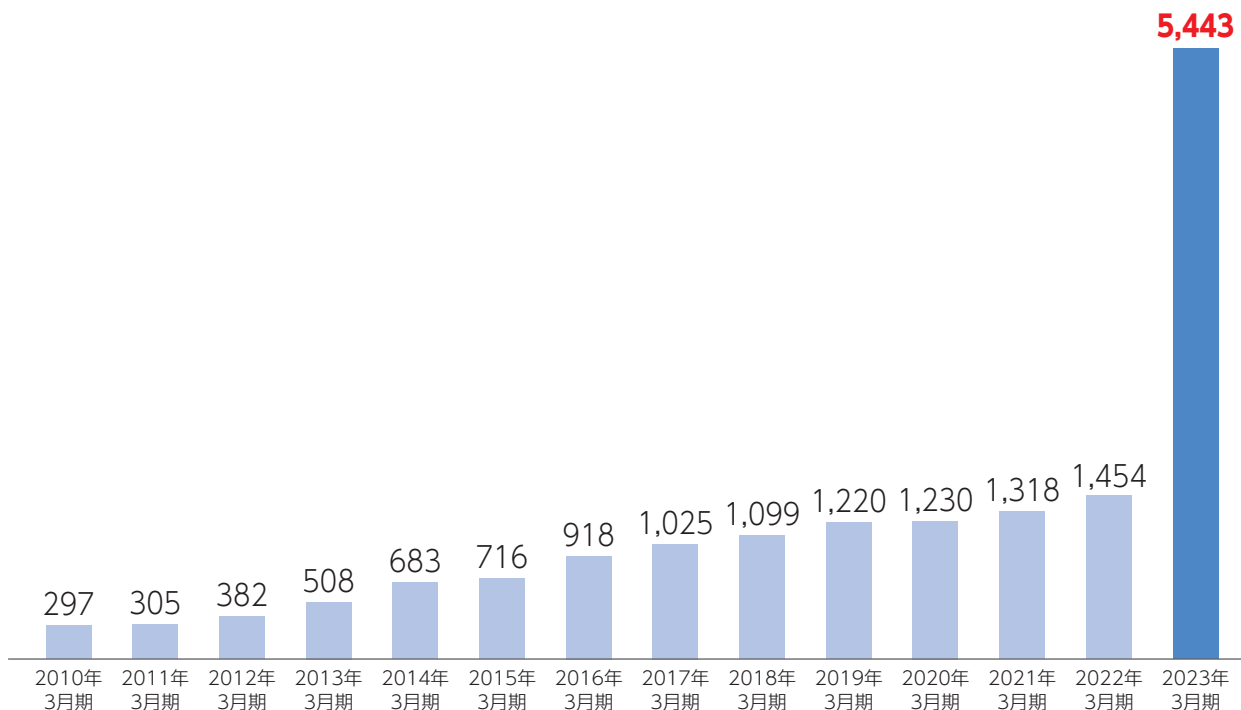
## 経営成績について

- 2023年3月期の連結売上高は、11期連続の増収、4期連続で過去最高の売上となる8,747百万円となりました。
- 連結営業利益は1,831百万円となりました。
- 連結経常利益は2,458百万円となり、14期連続の増益、12期連続の過去最高益となりました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は5,443百万円となり、14期連続の増益、10期連続で最高益となりました。米国モーニングスター・インクに「モーニングスター」ブランドを返還する対価8,000百万円の計上により、大幅に増加いたしました。

詳細は、事業報告、連結計算書類および計算書類をご参照ください。

### 親会社株主に帰属する当期純利益の推移

(単位：百万円)

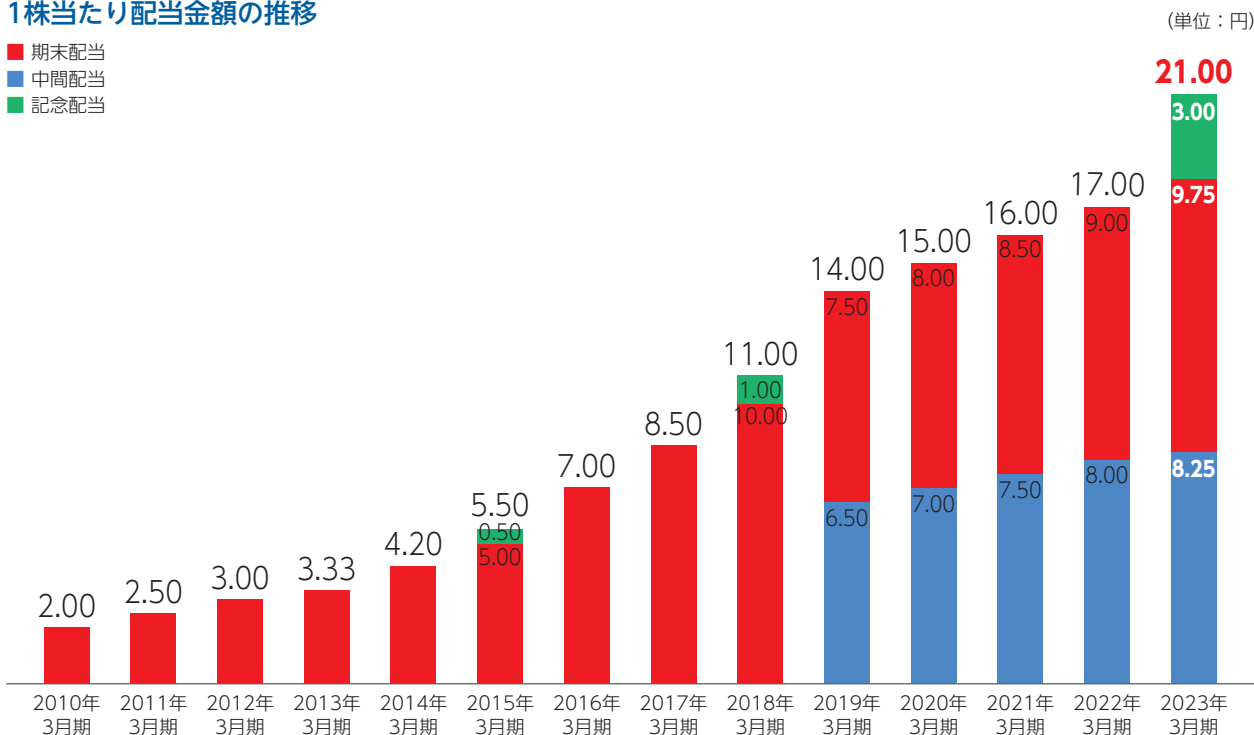


## 配当金について

- 2023年3月期の配当は、2022年9月30日を基準日とする中間配当を1株につき8円25銭実施し、2023年3月31日を基準日とする期末配当は1株につき9円75銭の普通配当に設立25周年記念配当3円00銭を加え、合計12円75銭といたします。  
年間合計普通配当額は前事業年度と比べ、1円00銭（5.9%）の増配の18円00銭、14期連続の増配となります。設立25周年記念配当を加えた年間合計配当額は21円00銭となり、前事業年度比、4円00銭（23.5%）の大幅増配となります。
- 連続増益・増配を14期以上続ける企業は全上場企業3,981社（2023年4月28日時点）の中で、当社を含めてわずか3社です（当社調べ）。  
今後も、株主還元の増加を含め、株主価値の向上に努めます。

### 1株当たり配当金額の推移

- 期末配当
- 中間配当
- 記念配当



※2013年7月1日に普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。  
2013年3月期以前の各事業年度は、比較のため、1株当たり期末配当金額に300分の1を乗じた金額を記載しております。  
2015年3月期の記念配当は上場15周年記念配当、2018年3月期の記念配当は設立20周年記念配当であります。

## 第26期定時株主総会招集ご通知

拝啓 日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第26期定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、**2023年6月21日（水曜日）午後5時45分**までに、議決権を行使してくださいませよう願ひ申し上げます。

## 【郵送による議決権の行使】

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。

## 【インターネットによる議決権の行使】

7頁の「インターネットによる議決権の行使のご案内」をご参照のうえ、上記の行使期限までに議決権を行使してください。

敬 具

記

1 日 時	2023年6月22日（木曜日）午前10時
2 場 所	東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスホテル東京 山吹（4階） 末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違のないようご注意ください。
3 目的事項	<b>報告事項</b> 1. 第26期（2022年4月1日から2023年3月31日まで） 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第26期（2022年4月1日から2023年3月31日まで） 計算書類報告の件 <b>決議事項</b> 第1号議案 取締役6名選任の件 第2号議案 補欠監査役1名選任の件

### 本定時株主総会における新型コロナウイルス感染症への対応についてのご案内

ご出席を予定されている株主様におかれましては、当日までの健康状態にご留意いただき、くれぐれもご無理のないようお願いいたします。

ご来場なさらずとも、ご自宅で株主総会の模様をご覧いただけるように、インターネットでライブ配信（生中継）を行います。

また、株主様の議決権は、書面またはインターネットによって事前に行使が可能ですので、こちらのご利用もご検討ください。

- 株主総会会場において、感染予防のため、間隔をあけた座席配置を行います。スペース確保のため、株主様のお席にテーブルのご用意ができません。そのため、コーヒーカップによるコーヒーのご提供はできません。
- ご来場の株主様が多数となった際、株主様のお座席は、当社の運営スタッフが指定させていただく場合があります。また、座席を狭く詰めて座っていただく場合があります。

#### 4 招集に際してのその他の決定事項

会社法の改正により、株主総会参考書類等の電子提供措置事項については、後記の各ウェブサイトにはアクセスのうえ、ご確認ください。ことを原則とし、基準日までに書面交付請求をいただいた株主様に限り、電子提供措置事項の全てを記載した書面でお送りさせていただきます。

基準日までに書面交付請求をいただいていない株主様には、電子提供措置事項を要約した書面をお送りさせていただきます。

書面交付請求をいただいた株主様には、電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたしますが、当該書面は、法令および当社定款第15条の規定に基づき、下記の記載事項を除いております。

なお、監査役会が監査報告を、会計監査人が独立監査人の監査報告を作成するに際して監査した事業報告、連結計算書類および計算書類には、当該書類記載のものほか、下記も含まれております。

##### 記

株主総会参考書類 第1号議案 取締役6名選任の件 注記、第2号議案補欠監査役1名選任の件 注記、事業報告の『企業集団の現況』のうち「従業員の状況」、「主要な事業内容」、「主要な営業所」、「主要な借入先の状況」、「直前3事業年度の財産および損益の状況」、「対処すべき課題」、「株式の状況」、「役員に対して交付した株式の数及び交付を受けた者の人数」、「新株予約権等の状況」、「会計監査人の状況」、「業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況」、「会社の支配に関する基本方針」、「剰余金の配当等の決定に関する方針」、「連結計算書類」のうち「連結株主資本等変動計算書」、「連結注記表」および「計算書類」、「連結計算書類に係わる会計監査報告」、「計算書類に係わる会計監査報告」、「監査役会の監査報告」

以上

#### 株主総会資料の電子提供

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトには「株主総会招集ご通知」として掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトにはアクセスのうえ、ご確認ください。ようお願い申し上げます。

##### 【当社ウェブサイト】

<https://www.sbiglobalam.co.jp/ir/meeting/index.html>



(上記ウェブサイトにはアクセスいただき、メニューより「株主還元・株主優待」「株主総会」を選択いただき、ご確認ください。)

##### 【SBIアセットマネジメント株式会社ウェブサイト】

[http://www.sbi-am.co.jp/gaiyo/gaiyo\\_gai.html](http://www.sbi-am.co.jp/gaiyo/gaiyo_gai.html)



(上記ウェブサイトにはアクセスいただき、メニューより「企業情報」「SBIグローバルアセットマネジメント株式会社株主総会招集ご通知」を順に選択いただき、ご確認ください。)

##### 【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



(上記の東証ウェブサイトにはアクセスいただき、「銘柄名(会社名)」に「SBIグローバルアセットマネジメント」または「コード」に当社証券コード「4765」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。)

- ご返送いただいた議決権行使書において、各議案につき賛否の表示をされない場合は、賛の表示があったものとして取り扱います。
- 当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面として、委任状および委任者の議決権行使書用紙のご提出が必要となります。
- 株主総会参考書類ならびに事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合には、前述の各ウェブサイトに掲載させていただきます。
- 株主総会当日までの状況により、会場や開始時刻その他の総会運営に変更が生じる場合がございます。変更後の内容は前述の各ウェブサイトに掲載させていただきます。
- 本総会の決議結果につきましては、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

**当社ウェブサイト (<https://www.sbiglobalam.co.jp/>)**

### **株主総会および経営近況報告会をインターネットでライブ配信（生中継）いたします。**

**【株主総会】「経営近況報告会」を、ご来場いただかなくてもリアルタイムで御覧いただけますので、ご利用ください。**

本定時株主総会終了後、同会場にて「経営近況報告会」を開催いたします。

「経営近況報告会」は、「株主総会」に引き続き、ライブ配信いたします。

「経営近況報告会」は本定時株主総会とは別に、代表取締役朝倉智也より、当社グループの事業内容、最近の経営状況、今後の展望などについてご説明させていただきます。

株主総会および経営近況報告会のインターネットでのライブ配信については、別紙「**株主総会および経営近況報告会のライブ配信のご案内**」をご参照のうえ、ご利用ください。

なお、株主総会のライブ配信では、議決権行使はできませんので、事前にインターネットないし郵送による議決権行使をお願いいたします。



# インターネットによる議決権行使のご案内

書面による議決権行使に代えて「議決権行使ウェブサイト」にて議決権を行使可能です。

## QRコードを読み取る方法

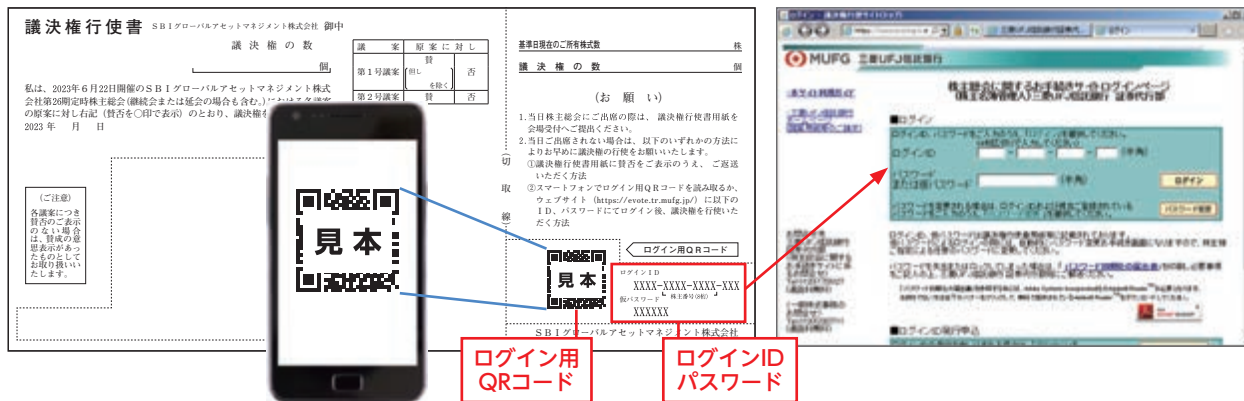
ログインID・仮パスワードを入力することなく、議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

議決権行使書用紙右片に記載のログイン用QRコードを読み取っていただき、以降は、画面の案内に従ってご入力ください。

## ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://evote.tr.mufg.jp/>

議決権行使書用紙右片に記載の議決権行使コードおよびパスワードにてログインしていただき、以降は、画面の案内に従ってご入力ください。



- (1) 行使期限は2023年6月21日（水曜日）午後5時45分までとなります。
- (2) 書面とインターネットによる議決権行使を重複して行使された場合は、インターネットによるものを有効とします。
- (3) インターネットにより複数回行使された場合は、最後に行われたものを有効とします。
- (4) パスワード（株主様に変更されたものを含みます。）は今回の総会のみ有効です。次回の株主総会時は新たに発行いたします。
- (5) インターネット接続に係る費用は株主様のご負担となります。

(ご注意)

- ・パスワードは、ご投票される方がご本人であることを確認する手段です。なお、パスワードを弊社よりお尋ねすることはございません。
- ・パスワードは一定回数以上間違えるとロックされ使用できなくなります。ロックされた場合、画面の案内に従ってお手続きください。
- ・議決権行使ウェブサイトは一般的なインターネット接続機器にて動作確認を行っておりますが、ご利用の機器によってはご利用いただけない場合があります。
- ・**ご不明点は、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行 証券代行部までお問い合わせください。**

三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部（ヘルプデスク）

- (1) 議決権行使ウェブサイトの操作方法等に関する専用お問い合わせ先  
フリーダイヤル **0120-173-027** (9:00~21:00)
- (2) 上記以外の株式事務に関するお問い合わせ先  
フリーダイヤル **0120-232-711** (平日9:00~17:00)

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



基準日までに書面交付請求をいただいた株主様に郵送いたしました添付書類では、法令および当社定款第15条の規定に基づき、事業報告のうち、5ページに記載の各事項は記載しておりません。それらの事項については、5ページに記載の当社企業情報サイト等をご確認ください。なお、基準日までに書面交付請求をいただいていない株主様に郵送いたしました添付書類では、事業報告の要約を記載しております。

## 1 企業集団の現況

### (1) 事業の経過および成果

#### ① 「モーニングスター」ブランドの返還と商号の変更

当社は、2023年1月27日開催の取締役会において、Morningstar, Inc. (米国イリノイ州、以下、モーニングスター・インク) とのライセンス契約を終了し、モーニングスター・インクに「モーニングスター」ブランドを返還し、その対価として80億円を受領する契約 (以下、本終了契約) を締結いたしました。

本終了契約に基づき、自社のウェブサイトやスマートフォンアプリによる投資情報や、金融機関向けに提供している商品およびサービス、また投資家向けセミナーにおいて、「モーニングスター」ブランドの利用を2023年3月30日で終了いたしました。

また、2023年3月29日に臨時株主総会を開催し、当社の商号を「SBIグローバルアセットマネジメント株式会社」に変更する定款変更を決議いたしました。

当社および子会社の商号変更を含むブランド返還の手続の完了により、当社はその対価80億円を2023年3月期の特別利益に計上いたしました。なお、当該80億円は2023年3月期の連結貸借対照表には未収入金に計上していますが、2023年4月19日までに現金で入金されています。

なお、本ライセンス契約の終了は、投信評価情報を含むファイナンシャル・サービス事業の売却ではなく、「モーニングスター」ブランドの返還であり、2023年3月30日以降のファイナンシャル・サービス事業は継続し、「ウエルスアドバイザー」のブランドで、引き続き商品およびサービスの提供を行ってまいります。

#### ② 経営成績の概況

当連結会計年度 (2022年4月1日から2023年3月31日まで) におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、経済活動が正常化に向かい、景気の持ち直しの動きがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化などが懸念される中で、物価上昇や世界的な金融引き締めにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連性の高い投資信託市場においては、ETFを除く公募追加型株式投資信託の純資金流入額が、前連結会計年度 (2021年4月1日から2022年3月31日まで) の9兆6,885億円から当連結会計年度は7兆4,775億円に減少しました。一方、当連結会計年度末の日経平均株価は、前年度末比0.79%上昇し、28,041円となりました。

このような経営環境下で、当社グループのアセットマネジメント事業は、インデックスファンドを中心に公募の投資信託の当連結会計年度末の運用残高が、前連結会計年度末の9,317億円から54.7%増加し、1兆4,413億円となりました。また、地域金融機関の有価証券運用の高度化と多様化を支援する私募の投資信託の当連結会計年度末の運用残高は、前連結会計年度末の1兆9,517億円から23.4%増加し、2兆4,081億円となりました。

当社グループ全体の当連結会計年度末の運用残高は、前連結会計年度末の、3兆6,976億円から26.8%拡大し、4兆6,920億円となりました。アセットマネジメント事業は、運用残高に伴い信託報酬が増加します。2022年10月に子会社とした新生インベストメント・マネジメント株式会社の6ヶ月間の売上も加わり、当連結会計年度のアセットマネジメント事業の売上高は、前連結会計年度の5,949百万円から15.0%の増収となる6,841百万円となりました。

ファイナンシャル・サービス事業は、投資信託の販売金融機関が活用する「Wealth Advisor」の提供台数が前連結会計年度の114,680台から115,645台に増加し、金融機関向けの当社独自開発の運用関連ツールやファンドデータの納品が増加しました。ブランド変更に伴い、モーニングスターアワード「ファンドオブザイヤー」等のライセンスおよびセミナーを取り止めたことにより、メディアソリューションの売上高が減少いたしました。その結果、当連結会計年度のファイナンシャル・サービス事業の売上高は、2,173百万円から268百万円(△12.3%)の減収となる1,905百万円となりました。

上記の結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高が前連結会計年度の8,123百万円から623百万円(7.7%)の増収となる8,747百万円となりました。

また、前連結会計年度と比べ、売上原価が566百万円増加し、販売費及び一般管理費が355百万円増加した結果、当連結会計年度の営業利益は、前連結会計年度の2,129百万円から298百万円(△14.0%)の減益となる1,831百万円となりました。

営業外損益は、前連結会計年度と比べ、営業外収益が353百万円増加し、営業外費用は変わらず、その結果、当連結会計年度の経常利益は、前連結会計年度の2,403百万円から55百万円(2.3%)の増益となる2,458百万円となりました。

特別利益にブランド返還収入を8,000百万円計上し、ブランド返還費用を含む組織再編費用、投資有価証券売却損などの特別損失を2,339百万円計上した結果、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度の1,454百万円から3,988百万円(3.74倍)の増益となる5,443百万円となりました。

#### 売上高

8,123百万円 ▶ **8,747百万円** 前期比 7.7%増

#### 営業利益

2,129百万円 ▶ **1,831百万円** 前期比 14.0%減

#### 経常利益

2,403百万円 ▶ **2,458百万円** 前期比 2.3%増

#### 親会社株主に帰属する当期純利益

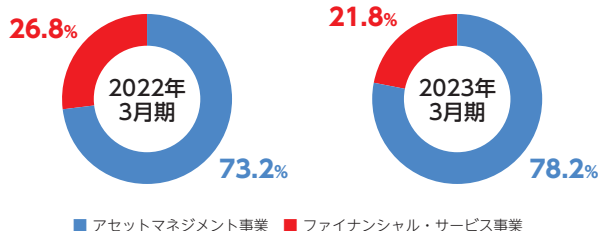
1,454百万円 ▶ **5,443百万円** 前期比 3.74倍

## (2) サービス別売上およびセグメント利益

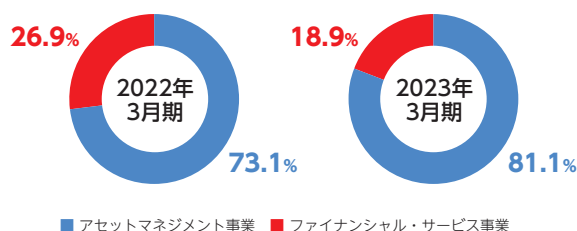
(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期		
	アセット マネジメント事業	ファイナンシャル ・サービス事業	連結計算書類 計上額	アセット マネジメント事業	ファイナンシャル ・サービス事業	連結計算書類 計上額
売上高	5,949	2,173	8,123	6,841	1,905	8,747
セグメント利益	1,557	572	2,129	1,484	346	1,831

### サービス別の売上構成



### セグメント利益構成

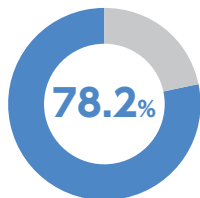


## アセットマネジメント事業

売上高 6,841百万円

金融商品取引法に基づき投資信託の設定、募集、運用などの投資運用や投資助言を行う事業であります。

### 売上高構成比

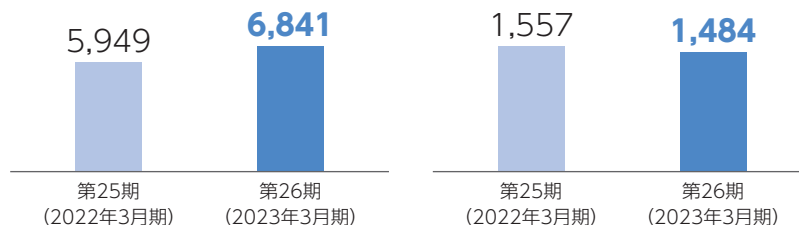


### 売上高

(単位：百万円)

### セグメント利益

(単位：百万円)



インデックスファンドを中心に公募の投資信託の当連結会計年度末の運用残高が、前連結会計年度末の9,317億円から54.7%増加し、1兆4,413億円となりました。また、地域金融機関の有価証券運用の高度化と多様化を支援する私募の投資信託の当連結会計年度末の運用残高は、前連結会計年度末の1兆9,517億円から23.4%増加し、2兆4,081億円となりました。当社グループ全体の当連結会計年度末の運用残高は、前連結会計年度末の、3兆6,976億円から26.8%拡大し、4兆6,920億円となりました。

その結果、アセットマネジメント事業の当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度の5,949百万円から892百万円（15%）の増収となる6,841百万円となりました。

セグメント利益は、前連結会計年度の1,557百万円から72百万円（△4.7%）の減益となる1,484百万円となりました。

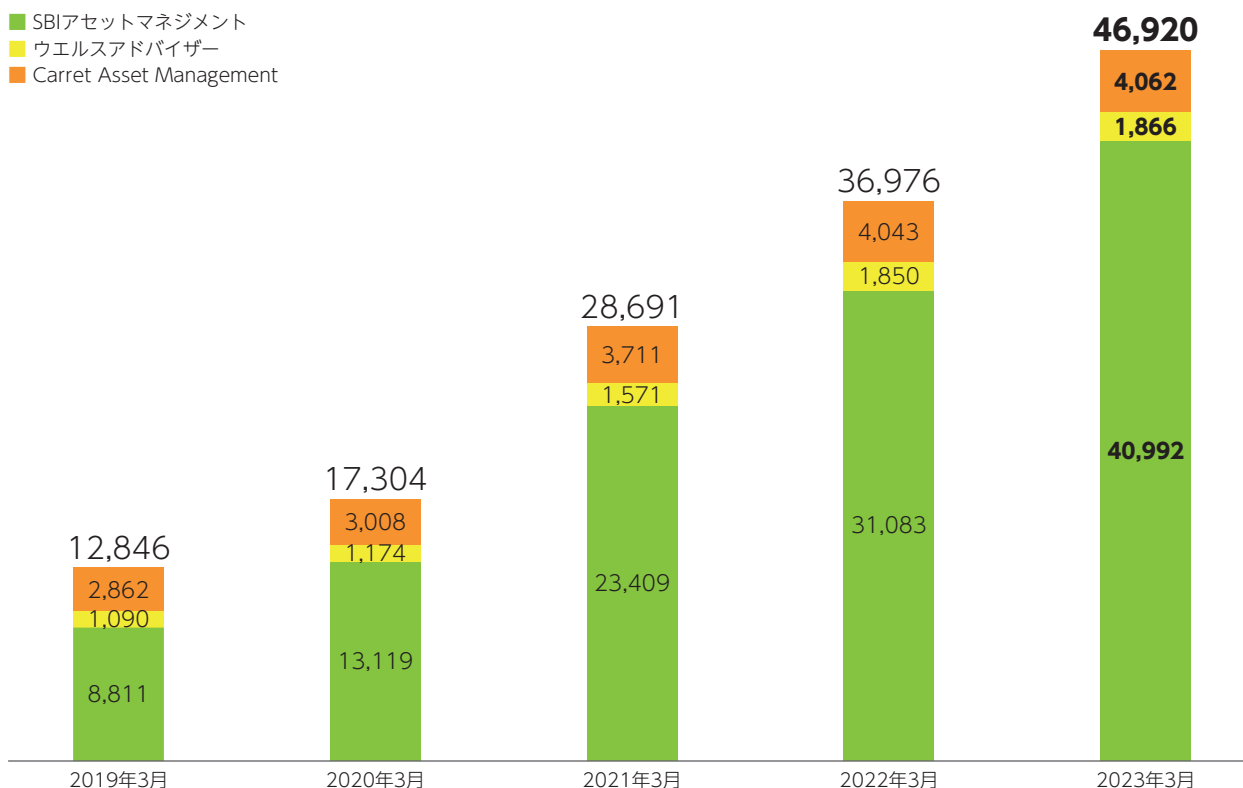
## 拡大を続ける当社グループの資産運用残高

当連結会計年度は新生インベストメント・マネジメント株式会社を新たに連結子会社といたしました。

グループ運用資産残高（助言資産残高を含む）は4.7兆円となり、前年同期比26.8%の増加となりました。

### 当社グループの運用残高の推移

(単位：億円)



注1. ウエルスアドバイザー(株) (旧モーニングスター・アセット・マネジメント(株)) は、2023年3月30日付で商号を変更いたしました。

注2. SBIアセットマネジメント(株)の運用資産残高は、2019年3月期～2022年3月期の4期間は、合併前の旧SBIアセットマネジメント(株)、旧SBI債券・インベストメント・マネジメント(株)、旧SBI地方創生アセットマネジメント(株)の3社合算残高によっております。また2023年3月期は、2023年4月1日付で吸収合併した旧新生インベストメント・マネジメント(株)の運用資産残高を加えた数字で表示しております。

SBIアセットマネジメント株式会社



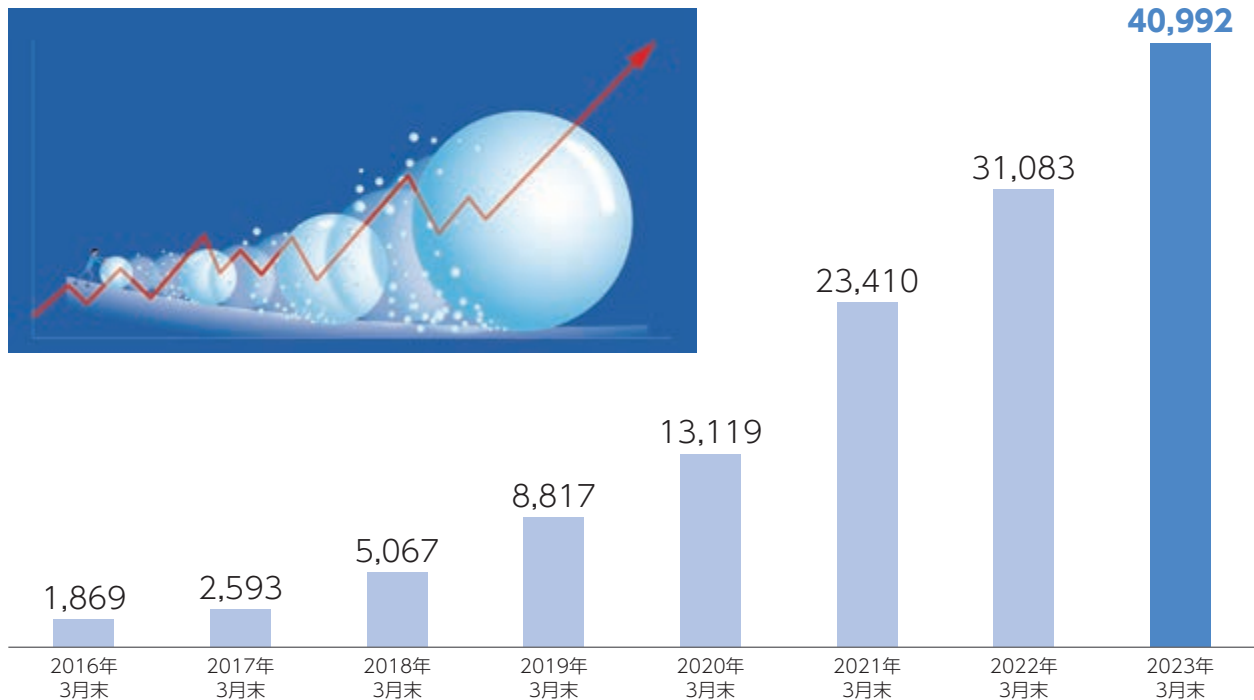
株式ファンド中心の  
公募・私募の投資信託の組成・運用

SBIアセットマネジメント株式会社は2022年8月に、公募投信を中心に運用していたSBIアセットマネジメント株式会社、PIMCOとの共同出資によるSBIボンドインベストメント株式会社、地域金融機関39行との共同出資によるSBI地方創生アセットマネジメント株式会社の3社が合併し、現在に至っています。

投資家の資産形成に適した長期投資のために運用コストの低廉なインデックス・ファンドを中心に残高を伸ばしており、運用するファンドの純資産残高が前連結会計年度末の3兆1,083億円から9,909億円（31.9%）増加して4兆992億円となりました。

SBIアセットマネジメントの運用ファンドの純資産残高の推移

(単位：億円)



## SBIアセットマネジメントの主なファンドのご紹介

### SBI・V・S&P500インデックス・ファンド (愛称：SBI・V・S&P500)

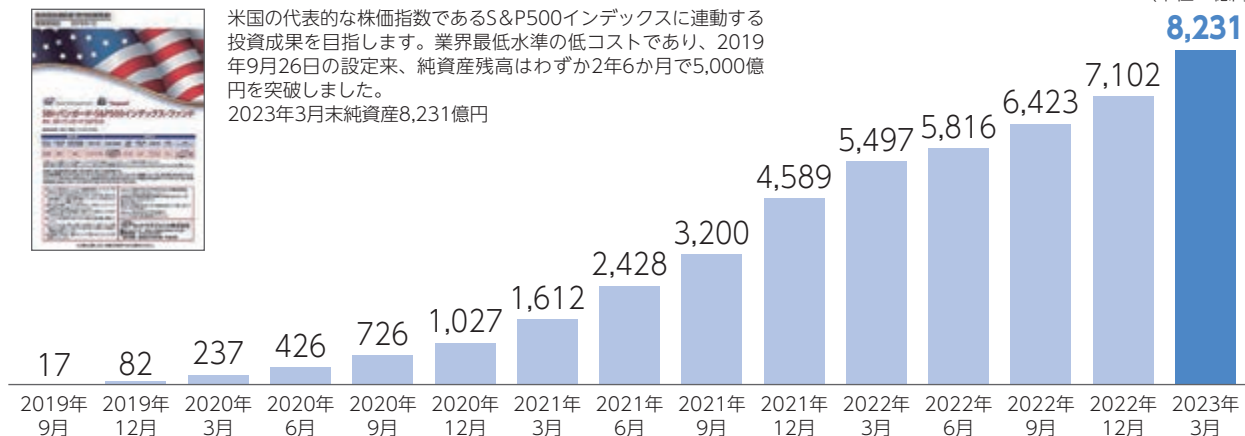


米国の代表的な株価指数であるS&P500インデックスに連動する投資成果を目指します。業界最低水準の低コストであり、2019年9月26日の設定来、純資産残高はわずか2年6か月で5,000億円を突破しました。  
2023年3月末純資産8,231億円

### SBI・V・S&P500の純資産残高の推移

(単位：億円)

**8,231**



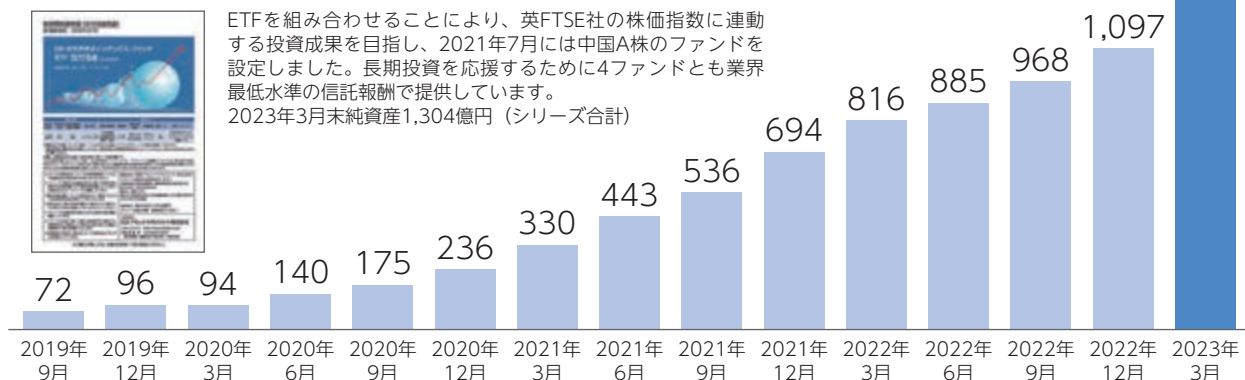
### 雪だるまシリーズ (4ファンド)

- SBI・全世界株式インデックス・ファンド (愛称：雪だるま (全世界株式))
- SBI・先進国株式インデックス・ファンド (愛称：雪だるま (先進国株式))
- SBI・新興国株式インデックス・ファンド (愛称：雪だるま (新興国株式))
- SBI・中国A株インデックス・ファンド (愛称：雪だるま (中国A株))

### 雪だるまシリーズの純資産残高の推移

(単位：億円)

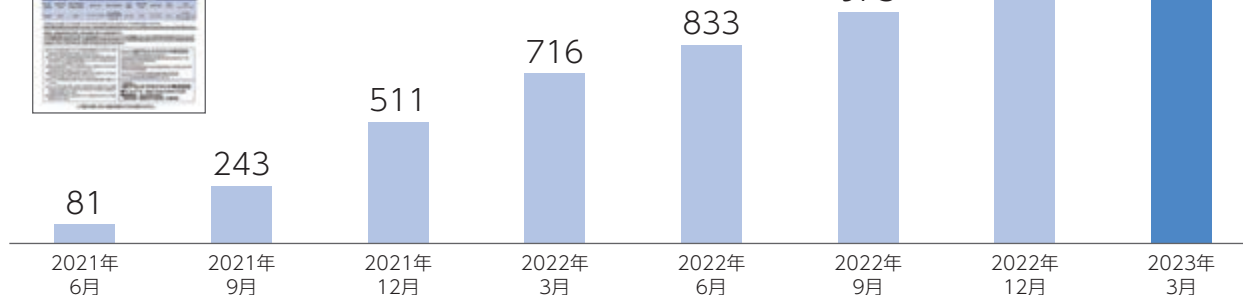
**1,304**



SBI・V・全米株式インデックス・ファンド  
(愛称：SBI・V・全米株式)



米国株式市場の動きを捉えるCRSP USトータル・マーケット・インデックスに連動する投資成果を目指します。[SBI・V・S&P500]と同様に業界最低水準の低コストに加えて、積立投資等で資産形成に寄与できると考えております。  
2023年3月末純資産1,379億円



SBI・V・全米株式の純資産残高の推移

(単位：億円)

新生・UTIインドファンド



主としてインドの金融商品取引所に上場している株式を実質的な投資対象とし、中期的な信託財産の成長を目指すファンドです。実質的な運用は、インド国内の大手投信会社であるUTIグループが運用します。安定性・成長性と企業の質を重視する運用の特徴は以下のとおりです。

- ・市場のムードにながされない一貫した運用戦略
- ・5～10年先も安定した成長がきたいでる銘柄を選定します
- ・有望な銘柄を長期保有することで、中長期的な超過収益獲得をめざします
- ・マーケットタイミングによるセクターや保有割合の変更は原則として行いません
- ・中・小型株の選別を重視します

新生・UTIインドファンドは、「R&Iファンド大賞」の最優秀ファンド賞ないし優秀ファンド賞を2012年から2022年まで11年連続で受賞しています。

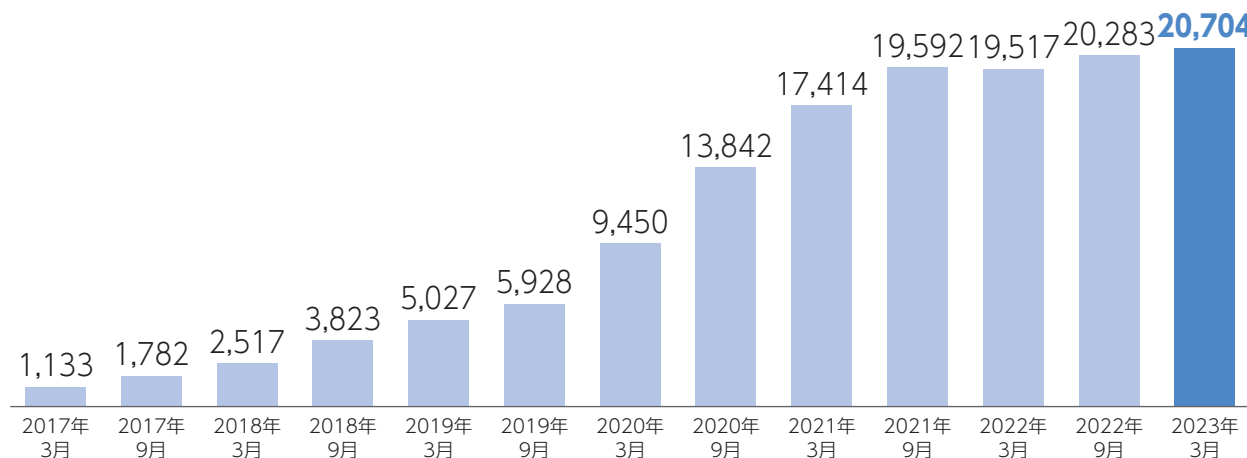
**SBI GROUP** × **PIMCO**  
14行の地域金融機関

PIMCOとの共同出資による旧SBIボンドインベストメント株式会社（2015年12月設立）、地域金融機関39行との共同出資による旧SBI地方創生アセットマネジメント株式会社（2018年3月設立）では、主に債券ファンド中心の私募の投資信託の組成・運用を行い、地域金融機関の有価証券運用の高度化を支援してまいりましたが、2022年8月の合併後の現SBIアセットマネジメントにおきましても金融機関向け私募投資信託は重要な業務となっています。

グループ全体の運用残高は、SBIボンドインベストメント株式会社設立から4年5か月で1兆円を突破し、6年7か月で2兆円に達しました。厳しい投資環境の中、今後も低コストで柔軟な商品設計で資金運用ニーズに対応することで金融機関への課題解決型アプローチをさらに進めてまいります。

SBIアセットマネジメントの私募債投信残高の推移

(単位：億円)





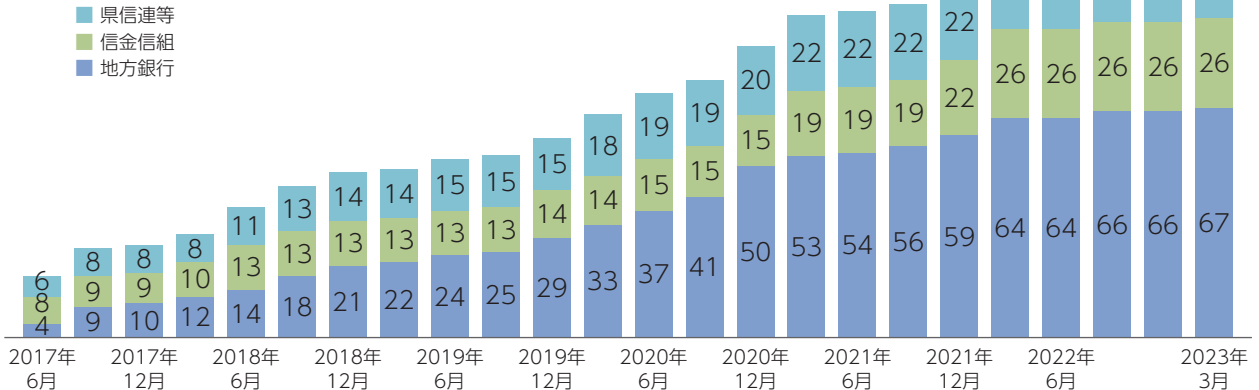
SBIアセットマネジメント株式会社



(単位：件)

116

SBIアセットマネジメントの運用受託者の推移



SBIアセットマネジメントは、お客様の長期投資や多岐にわたるニーズにお応えできる様々なタイプの運用商品を提供しております。「R&I ファンド大賞」において、以下のファンドが受賞しました。

R&I ファンド大賞 2023 (2023年4月受賞)

部門	表彰区分	表彰対象
投資信託10年/国内中小型株式	最優秀ファンド賞	SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト (愛称：jnext)

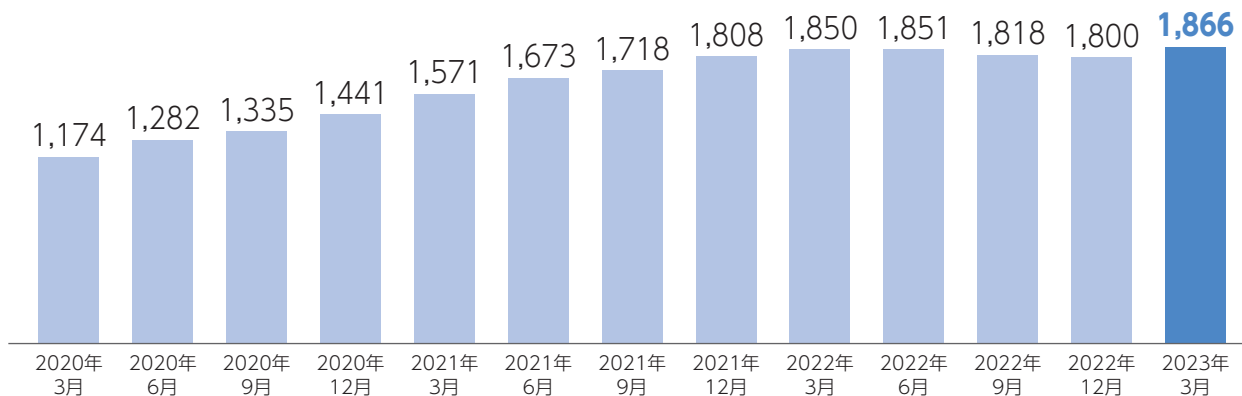
R&I ファンド大賞 2022 (2022年4月受賞)

部門	表彰区分	表彰対象
投資信託10年/国内中小型株式	最優秀ファンド賞	SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト (愛称：jnext)
投資信託/国内中小型株式	優秀ファンド賞	SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト (愛称：jnext) SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト (年2回決算型) (愛称：jnext II)
NISA/国内中小型株式	最優秀ファンド賞	SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト (愛称：jnext)
iDeCo・DC / 外国債券	最優秀ファンド賞	EXE-i 先進国債券ファンド

## ウエルスアドバイザー株式会社

(単位：億円)

### (旧モーニングスター・アセット・マネジメント) の助言対象資産残高の推移



## SBIオルタナティブ・ファンド合同会社



匿名組合契約による暗号資産の  
投資ファンドの運営

SBIオルタナティブ・ファンド合同会社は、2021年12月に設立され、投資家との匿名組合契約により、暗号資産への投資を行います。

同社は、2022年2月に、次世代の運用資産の一つとして国内初となる個人投資家向けの暗号資産ファンド（匿名組合1号）を設定、7つの暗号資産に投資を開始し当初の償還予定を1年延長し2024年1月まで運用してまいります。

## Carret Asset Management LLC



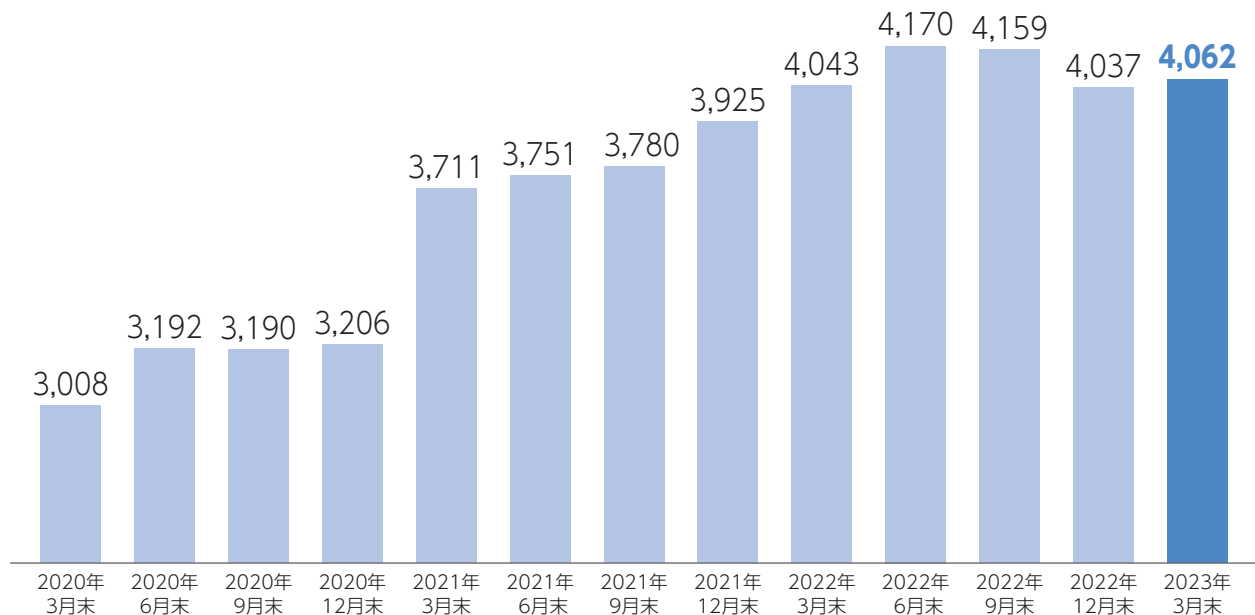
米国での公募・私募の投資信託の  
組成・運用

Carret Asset Management LLCは、米国最古のファンドを立ち上げたPhilip Carret氏が1962年に創設した資産運用会社であり、長年にわたりバリュー投資の哲学を世に広め、米国の資産運用業界に貢献してまいりました。これまでに、主要顧客である機関投資家や富裕層に安定して高い運用実績を提供してきており、その卓越した投資戦略を日本の投資家にも提供するため、2019年2月に子会社としました。2022年3月には、非支配株主が有していた株式の全てを追加取得し、完全子会社としております。

同社の運用残高は、当連結会計年度末では4,062億円となりました。

## Carret Asset Management の運用残高の推移

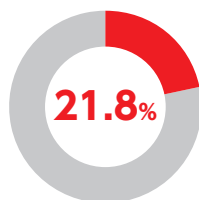
(単位：億円)



## ファイナンシャル・サービス事業 売上高 1,905百万円

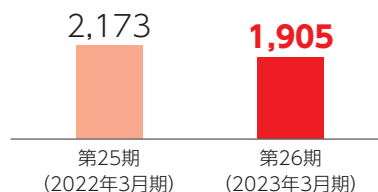
主に資産運用全般の情報を比較・分析・評価して顧客に提供し、あわせてコンサルティングなども行なう事業です。

### 売上高構成比



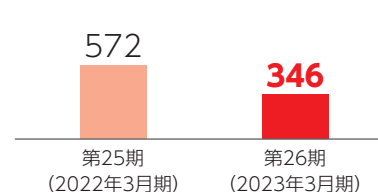
### 売上高

(単位：百万円)



### セグメント利益

(単位：百万円)



ファイナンシャル・サービス事業の当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度の2,173百万円から268百万円（△12.3%）の減収となる1,905百万円となりました。

セグメント利益は、前連結会計年度の572百万円から226百万円（△39.5%）の減益となる346百万円となりました。

当社は、2023年3月30日をもって、米国モーニングスター・インクに「モーニングスター」ブランドを返還する契約を2023年1月27日に締結し、その対価として80億円の特別利益を計上しました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅な増益となりました。一方、当該契約締結後、「モーニングスター」ブランドを用いるサービスを取り止めたことでファイナンシャル・サービス事業は減収・減益となりました。

「モーニングスター」ブランド返還後もファイナンシャル・サービス事業はウエルスアドバイザー株式会社で継続いたします。

### ファイナンシャル・サービス事業はウエルスアドバイザーへ

～モーニングスターは2023年3月30日にウエルスアドバイザーへ～  
ウエルスアドバイザー株式会社ロゴに込められた想い



「評価」の象徴とした星マークと「道を示す」方位磁石をモチーフに、投資家が目指す先と「投資家主権の確立」の支援を意味するロゴといたしました。

## データ・ソリューションの主なサービス①

### 【販売金融機関向け販売支援ツール「Wealth Advisor」】

金融機関に投資信託のみならず、ライフプランや相続・贈与も組み合わせたタブレットやパソコン端末に掲載するアプリケーション・サービス「Wealth Advisor」を提供しております。金融機関の方々が、お客様によりよいご提案を行うために欠かせない機能が多数搭載されております。当連結会計年度末における当サービスの提供台数は115,645台となり、前連結会計年度末の114,680台から965台増加しました。

### 「Wealth Advisor」の台数、社数の推移



## データ・ソリューションの主なサービス②

### 【フィデューシャリー・デューティーに則った、ゴールベースアプローチツールの提供】

お客様の資産や家族構成、将来の目標などを適切にヒアリングしたうえで、その将来のイベントなどを設計し、必要となる資金や、目標設定などが可能となります。前述のWealth Advisorと組み合わせることで、将来設計→目標金額の設定→ポートフォリオの構築→ファンドの選定と、ゴールベースアプローチの一連の提案を担うことが可能であり、金融機関販売員のコンサルティング力向上に役立っております。また、ビッグデータと呼ばれるデータが包含され、住宅価格、大学費用、賃金カーブ、必要保証額など、常に最新のデータを用いて説明し、お客様の回答情報の保存やレポート制作などこれまでのライフプランシミュレーションよりも大幅な機能向上をはかっております。

#### 新型ライフプランシミュレーション



ビッグデータを活用した細かなシミュレーションと  
保存・印刷機能を用いた利便性

地域別情報などより詳細に  
(住宅(戸建て・マンション)・大学など)

- ・ イベント追加機能 (タイムライン)
- ・ お金の色分け
- ・ 必要保証額
- ・ 将来シミュレーション

#### ビッグデータの活用例

都道府県の具体的な選択  
(地域データ)



上場企業の具体的な選択  
(賃金カーブ)



具体的な大学の選択  
(学費)



#### お客様の人生設計を制作

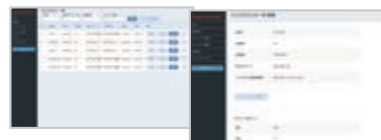
イベント追加により  
タイムラインを作成



各種結果表示



保存機能 (レポート提供も可能)



## データ・ソリューションの主なサービス③

【資産運用のデジタル化に対応したオンラインコンテンツも充実】

### 金融機関ホームページ向けの投資信託データ提供

メガバンク

証券会社

地方銀行



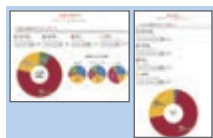
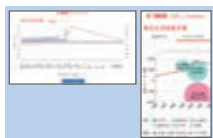
当社は、Finance（金融）とTechnology（テクノロジー）を融合したフィンテック技術を活用し、インターネットを中心とした資産形成層や資産活用層向けにわかりやすい投資信託の情報と評価を提供してまいりました。また、昨今のインフレ・円安・世界情勢の影響もあり、資産運用をお考えになる投資家層の裾野は大きく広がっており、資産運用のきっかけとなる各種シミュレーションについても販売金融機関による導入が大きく伸びております。

### パソコン/スマートフォン/アプリのための 各種資産運用関連シミュレーション

ライフプランシミュレーション

お金の色分け診断

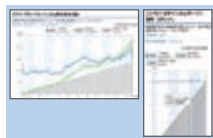
金融電卓



投資信託データ提供

積立シミュレーション

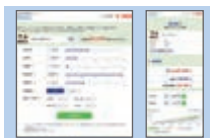
つみたてNISA節税シミュレーション



ロボ・アドバイザー

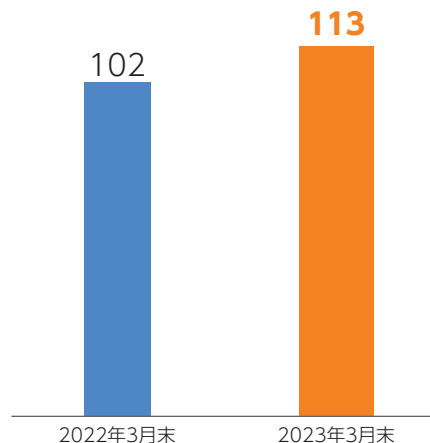
相続シミュレーション

iDeCo節税シミュレーション



### 【増加する提供社数】

（単位：社）



## 個人投資家への適切な情報提供

### 【ウェルズアドバイザーWEBサイト】

ウェルズアドバイザーとしてサイトをリニューアル。これまでのご提供サービスの継続とともに、新NISAやデジタルアセットなど、今後様々な情報拡充を行ってまいります。



### 【ウェルズアドバイザーYouTubeチャンネル】

資産運用もデジタル化が進む中で、動画による情報提供はこれからより重要性を増しております。ウェルズアドバイザーではこれまで以上に動画による情報拡充を進めて参ります。



### 【スマートフォンアプリ「My 投資信託」】



**累計100万ダウンロード突破!!**  
多彩な切り口からファンド選びを行うことが可能  
ポートフォリオで詳細な損益管理  
銘柄比較管理で、ファンド選ぶ  
全ての機能が無料でご利用可能

### 【株式新聞WEB/アプリ】



株式新聞WEB/アプリは、中・小型株を中心に、どこもカバーしていない銘柄を多く取り上げている他、法人向け利用などの拡大もあり、資産運用のコアユーザーに浸透しています。

### 【My 仮想通貨】



仮想通貨アプリ「My 仮想通貨」では、様々な仮想通貨の情報が一目で閲覧できるほか、ランキングでは時価総額、騰落率などの並べ替えも可能となっております。専用ニュースも日々配信し、仮想通貨の総合的なアプリとして確立しております。



## 個人投資家への適切な情報提供

### 【資産運用セミナー】

コロナ禍以降、オンライン開催中心となった資産運用セミナーも、徐々に投資家のみなさまより会場開催拡大のご要望を受け、東京・地方での対面セミナーの拡充を実施。ウエルスアドバイザーとして今後さらなるイベントを充実いたします。

### 【直近開催のセミナー例（東京開催）】

<東京> 投信EXPO2022

【2022年9月10日（土）】

- ・オンライン視聴者：5,014名
- ・来場者：368名 賑わいを戻した
- ・合計：5,382名 ブース風景



毎年満席となる  
代表朝倉の講演風景



<東京> モーニングスターカンファレンス2023

【2023年1月21日（土）】

- ・オンライン視聴者：877名
- ・来場者：256名 2023年最初の
- ・合計：1,133名 イベント実施



代表朝倉講演



### 【直近開催のセミナー例（地方開催）】

<京都> 資産運用フェア2022in京都 【2022年7月22日（金）】

- ・オンライン視聴者：624名
- ・来場者：49名
- ・合計：673名



代表朝倉講演



<福岡> 投信フェア2023in福岡 【2023年3月21日（祝・火）】

- ・オンライン視聴者：1,834名
- ・来場者：120名
- ・合計：1,954名



ブースにおける説明

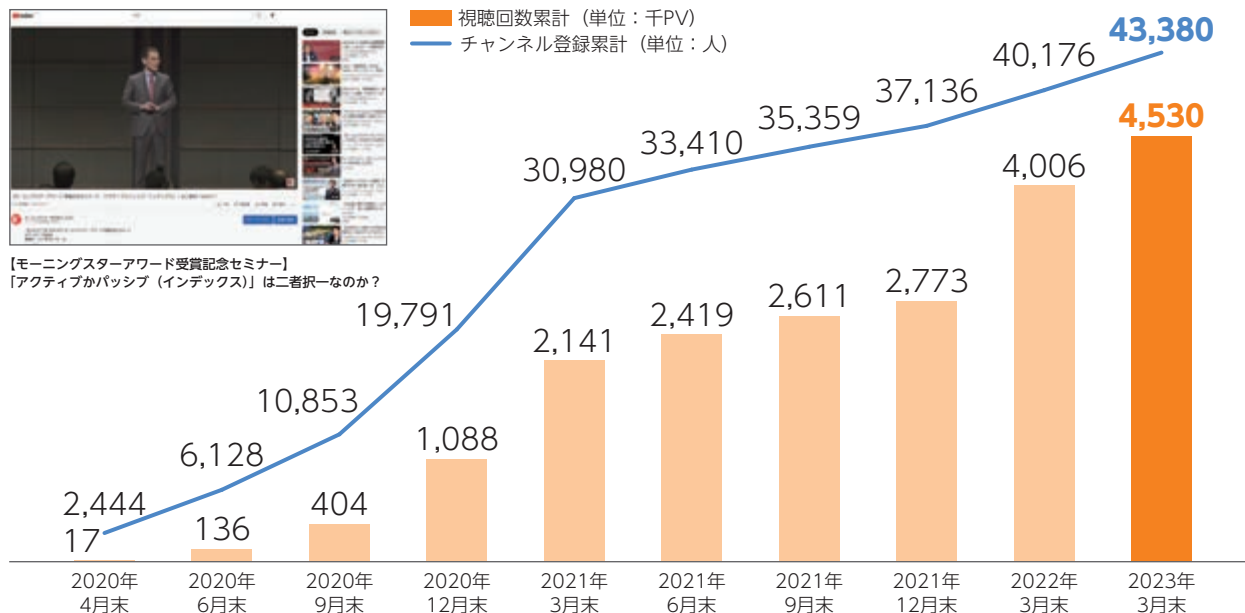


代表朝倉講演



## 【ウエルスアドバイザーYouTube公式チャンネル】

ウエルスアドバイザーでは2020年4月30日にYouTube公式チャンネルを開始。開設から約2年で、当公式チャンネルはオンラインセミナープラットフォームとして普及し、登録者は40,000人、再生回数は累計400万回を突破いたしました。



## 人気動画トップ3

第1位



再生回数：436,831回  
高評価：2,177 👍

第2位



再生回数：186,121回  
高評価：1,826 👍

第3位



再生回数：122,788回  
高評価：1,028 👍

(2023年3月末時点)

【ウェブ広告】

ウエルスアドバイザーウェブサイト

スマートフォン&タブレット端末



国内随一の金融情報サイトである当社のウェブ広告は広告効果が高く、広告誘導の他、セミナーの集客等にも活用されています。各種媒体、コンテンツからウエルスアドバイザーウェブサイトへのアクセスが増加し、2023年3月は3,158万PVとなりました。

新型コロナウイルス感染症対策として、対面（会場来場）でのセミナーの参加を制限してきましたが、オンラインセミナーの参加者は、順調に増加し、オンラインと対面合計の参加者は、2万5千人を超えています。

【セミナー】

主なハイブリッド（オンライン）資産運用セミナー



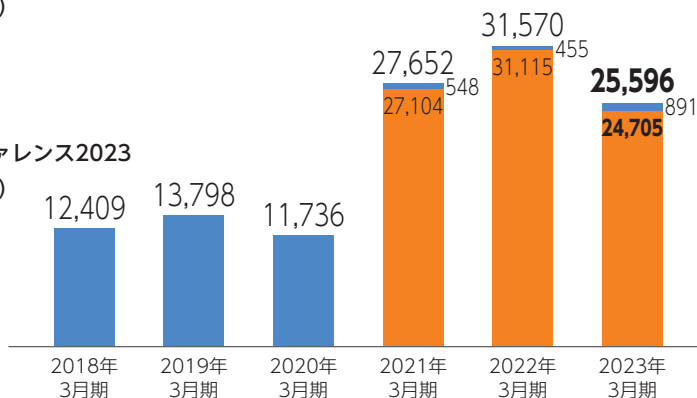
投信EXPO2022  
2022年9月10日（土）  
参加者数：5,382名  
（うち、来場者368名）  
（うち、ネット5,014名）



モーニングスターカンファレンス2023  
2023年1月21日（土）  
参加者数：1,133名  
（うち、来場者256名）  
（うち、ネット877名）

セミナー参加者の推移

■ 対面 ■ オンライン



ウエルスアドバイザー株式会社

【企業型確定拠出年金向け支援】

ウエルスアドバイザー株式会社では企業型確定拠出年金加入者向けの理解促進のため、企業と契約を行いDC冊子作成等支援を行っております。自社企業が扱う商品の中でも自分にあったスタイルはどのようなものなのか、また、具体的にどのようなポートフォリオを組んだらよいかという、加入者が本当に知りたい悩みを解決するよう、第三者機関としてサポートしております。

### (3) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施いたしました当社グループの設備投資の総額は371百万円であります。そのほとんどは、ファイナンシャル・サービス事業に関わるシステムサーバーおよびソフトウェアを中心とした提供サービスの品質向上、情報データベースの拡充のためのシステム投資であります。

### (4) 資金調達の状況

該当事項はありません。

### (5) 重要な組織再編の状況

前連結会計年度末より、以下の組織再編を実施しております。

- ① SBIアセットマネジメント株式会社、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社の合併  
2022年8月1日付で、連結子会社であるSBIアセットマネジメント株式会社、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社を、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社として吸収合併いたしました。
- ② 連結子会社（アセットマネジメント事業の中間持株会社）との合併  
当社は、2022年10月1日付で、当社の子会社であり、当社グループのアセットマネジメント事業の中間持株会社であるSBIアセットマネジメント・グループ株式会社を吸収合併いたしました。
- ③ 新生インベストメント・マネジメント株式会社の株式取得、同社の子会社化  
当社は、2022年10月3日付で、資産運用会社である新生インベストメント・マネジメント株式会社の全株式を取得し、同社を子会社といたしました。
- ④ モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社とイー・アドバイザー株式会社の合併  
2023年3月30日付で、連結子会社であるモーニングスター・アセット・マネジメント株式会社とイー・アドバイザー株式会社を、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社を存続会社として吸収合併いたしました。
- ⑤ ファイナンシャル・サービス事業の子会社への吸収分割  
当社は、2023年3月30日付で、当社のファイナンシャル・サービス事業に関して有する権利義務を、吸収分割の方法により当社の完全子会社であるモーニングスター・アセット・マネジメント株式会社に承継させる吸収分割を行いました。同日にモーニングスター・アセット・マネジメント株式会社はウエルスアドバイザー株式会社に商号を変更いたしました。
- ⑥ SBIアセットマネジメント株式会社と新生インベストメント・マネジメント株式会社の合併  
2023年4月1日付で、連結子会社であるSBIアセットマネジメント株式会社と新生インベストメント・マネジメント株式会社を、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社として吸収合併いたしました。

重要な組織再編の状況については、連結計算書類、13. 企業結合に関する注記および14. 重要な後発事象でも説明しています。

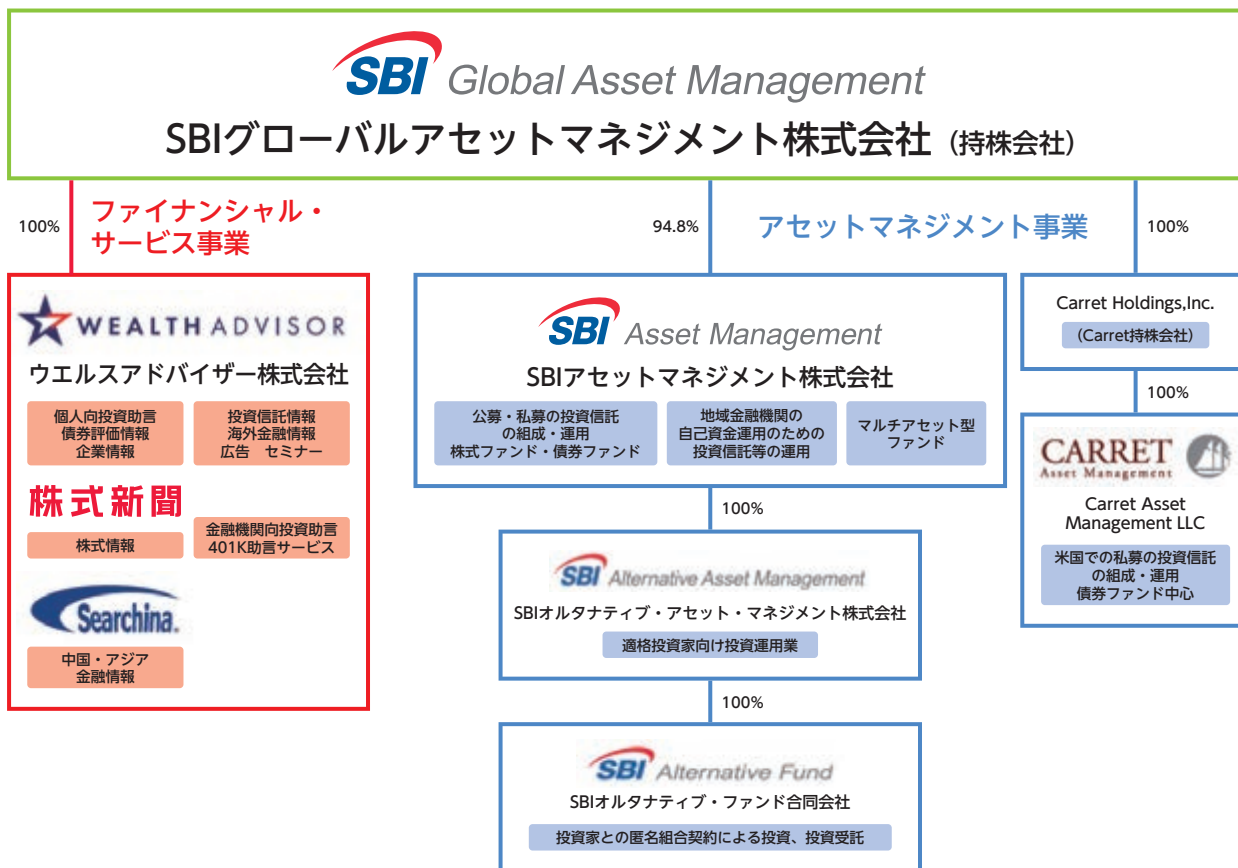
### (6) 重要な親会社および子会社の状況

#### ① 親会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社に対する 議決権比率 (%)	当社との関係
SBIアセットマネジメントグループ株式会社	100	52.7	親会社、主要株主である筆頭株主 SBIホールディングス株式会社の 100%子会社であります。
SBIホールディングス株式会社	139,181	(52.7)	親会社 情報サービスやコンサルティングサービ スの提供、事務所の転貸借

(注) 当社に対する議決権比率欄の( )内は、間接被所有割合であります。  
 親会社であるSBIホールディングス株式会社は、2023年3月8日、SBIグローバルアセットマネジメント株式会社から商号を変更しています。  
 SBIアセットマネジメントグループ株式会社が実施した当社株式に対する公開買付けにより、同社の当社に対する議決権比率が公開買付け前の41.5%から52.7%へ増加いたしました。(2023年3月7日異動)  
 親会社であるSBIホールディングス株式会社との取引については、他の取引先と同様の基本条件、公正な市場価格によって行なうとの基本方針をもって、同社との協議を行ないその内容を決定しており、少数株主の利益を害することのないように取引を行なっております。  
 当社取締役会も同様の理由で、SBIホールディングス株式会社との取引は、当社の利益を害するものではないと判断しております。

## ② 子会社の状況 (2023年4月1日現在)



## 3 会社の役員状況

### (1) 取締役および監査役の状況 (2023年3月31日現在)

会社における地位	氏名	担当	会社における地位	氏名	担当
代表取締役執行役員社長	朝 倉 智 也	経営全般	常勤監査役	後 藤 淳 夫	常勤監査
取締役	北 尾 吉 孝	—	社外監査役	長 野 和 郎	—
社外取締役	大 鶴 基 成	—	社外監査役	小 竹 正 信	—
社外取締役	ピリー・ウェード・ワイルダー	—			
社外取締役	山 澤 光 太 郎	—			
社外取締役	堀 江 明 弘	—			

- (注) 1. 当社は、補欠監査役に神山敏之氏を選任しております。  
 2. 取締役大鶴基成氏、取締役ピリー・ウェード・ワイルダー氏、取締役山澤光太郎氏および取締役堀江明弘氏は社外取締役であります。監査役長野和郎氏および監査役小竹正信氏は社外監査役であります。  
 3. 当社は、取締役大鶴基成氏、取締役ピリー・ウェード・ワイルダー氏、取締役山澤光太郎氏、取締役堀江明弘氏、監査役長野和郎氏および監査役小竹正信氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定し、同取引所に届け出ております。  
 4. 当事業年度中の取締役および監査役の異動は次のとおりです。  
 2022年6月23日開催の第25期定時株主総会において、新たに山澤光太郎氏と堀江明弘氏が取締役に選任されました。また、同株主総会終結の時をもって、取締役小川和久氏、取締役森澤正人氏および取締役チャン・ユーツン氏が任期満了で退任しました。  
 2023年3月1日に取締役ベビン・デズモンド氏が辞任により退任しました。  
 5. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、当社全取締役および全監査役を被保険者とし、被保険者の損害賠償請求による損害等を当該保険契約によって填補することとしています。

### (2) 取締役および監査役の報酬等

#### ① 役員報酬等の内容の決定に関する方針等

取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針の内容は次のとおりです。  
 取締役の報酬は、固定報酬である基本報酬のほか、会社業績等に基づく賞与で構成されており、株主総会で承認された報酬総額の範囲内において、取締役会が各取締役の職務内容・責任・権限・貢献度等を勘案して支給額を決定する。  
 取締役の基本報酬は、月例の金銭報酬とし、従業員給与の最高額、過去の同順位の取締役の支給実績、当社の業績見込み、取締役の報酬の世間相場、当社の業績等への貢献度、就任の事情、前年の報酬額、その他を考慮し、支給額を取締役ごとに定める。取締役全体の基本報酬の年間総額を取締役会が決議し、取締役会が代表取締役に決定を一任した場合は、個人別の報酬等について代表取締役がこれを決定する。  
 取締役に賞与を支給する場合は、個々の取締役の職責や職務執行状況等を基礎とし、経営環境等も踏まえ、当該取締役の貢献度を総合的に勘案して、取締役会が各取締役の支給額を決定する。取締役の賞与の総額を取締役会が決議し、取締役会が代表取締役に決定を一任した場合は、個人別の賞与について代表取締役がこれを決定する。なお、現在、非金銭報酬の支給の予定はなく、その方針は定めておりません。  
 取締役会は、取締役の個人別報酬について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針に沿うものであると判断しております。

#### ② 当事業年度に係る報酬等の総額

区分	当事業年度に係る報酬等の総額		うち社外役員分	
	支給人員 (名)	支給額 (千円)	支給人員 (名)	支給額 (千円)
取締役	7	45,668	4	21,000
監査役	2	12,100	1	3,600
合 計	9	57,768	5	24,600

- (注) 1. 上記の取締役の報酬等は、すべて基本報酬であります。当事業年度の取締役の個人別の報酬等については、支給人数が少数であり、前年の報酬額を基礎に決定するため、当事業年度の取締役全体の基本報酬の年間総額を取締役会が決議し、取締役会が代表取締役社長朝倉智也に個人別の報酬等についての決定権限を一任し、代表取締役社長朝倉智也がこれを決定いたしました。  
 2. 取締役および監査役の支給人員及び支給額には、当事業年度において在任した取締役および監査役のうち、無報酬の取締役3名および監査役1名は含んでおりません。2022年6月23日開催の第24期定時株主総会終結の時をもって、任期満了で退任した取締役2名を含んでおります。  
 3. 2000年3月21日開催の第4期定時株主総会決議による報酬限度額は、取締役年額500百万円以内、監査役年額100百万円以内であります。  
 4. 上記3.の株主総会決議時点における対象となる取締役の員数は5名（うち社外取締役は4名）、監査役の員数は2名（うち社外監査役は1名）となります。

### (3) 重要な兼職の状況

氏名	会社名	役職名
朝倉智也	ウエルスアドバイザー株式会社	代表取締役社長
	SBIホールディングス株式会社	取締役副社長
	SBIアセットマネジメントグループ株式会社	取締役
	Carret Holdings, Inc	Director
	SBIアセットマネジメント株式会社	取締役
	SBI地域事業承継投資株式会社	取締役
	SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社	取締役
	SBIエナジー株式会社	取締役
	SBIエステートファイナンス株式会社	取締役
	住信SBIネット銀行株式会社	取締役
	SBIインシュアランスグループ株式会社	取締役
	岡三アセットマネジメント株式会社	取締役
	SBIネオフィナンシャルサービシーズ株式会社	取締役
	北尾吉孝	SBIホールディングス株式会社
株式会社SBI証券		代表取締役会長
SBIインベストメント株式会社		代表取締役執行役員会長兼社長
SBIファーマ株式会社		代表取締役執行役員社長
SBIアセットマネジメントグループ株式会社		代表取締役社長
地方創生パートナーズ株式会社		代表取締役社長
SBI金融経済研究所株式会社		代表取締役社長
SBIキャピタルマネジメント株式会社		代表取締役社長
SBIウェルネスバンク株式会社		代表取締役会長
株式会社SBI BITS		代表取締役会長
SBI Crypto株式会社		代表取締役会長
SBI地域事業承継投資株式会社		代表取締役会長
SBI Hong Kong Holdings Co., Limited		Representative Director
SBIデジタルアセットホールディングス株式会社		代表取締役会長
SBI P T Sホールディングス株式会社		代表取締役会長
大阪デジタルエクスチェンジ株式会社		代表取締役会長
SBIクリプトインベストメント株式会社		代表取締役
SBIファイナンシャルサービシーズ株式会社		取締役会長
SBIリクイディティ・マーケット株式会社		取締役会長
株式会社ネクシィーズ・トレード		取締役会長
SBI Ripple Asia株式会社	取締役会長	

氏名	会社名	役職名
大鶴基成	サン総合法律事務所	客員弁護士
	アウロラ債権回収株式会社	社外取締役
	SBIインシュアランスグループ株式会社	社外監査役
	一般社団法人日本野球機構	調査委員長
ピリー・ウェード・ワイルダー	MATT.ER K.K	Senior Consultant & Chief Investment Officer
山澤光太郎	イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役
	ウイングアーク1st株式会社	社外取締役
	HiJoJo Partners株式会社	社外取締役
堀江明弘	株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティング	取締役
後藤淳夫	SBIアセットマネジメント株式会社	監査役
	ウエルスアドバイザー株式会社	監査役
長野和郎	株式会社三友システムアプレイザル	社外監査役
	守山乳業株式会社	顧問
小竹正信	ジャパンネクスト証券株式会社	社外監査役
	SBIプライム証券株式会社	監査役
	SBIインベストメント株式会社	監査役
	SBIネオファイナンシャルサービス株式会社	監査役



#### (4) 社外役員に関する事項

##### ① 他の法人等の業務執行者および社外役員等としての重要な兼職の状況および当該他の法人等との関係

社外役員の氏名	他の法人等の業務執行者および社外役員等の兼職の状況	
取締役 大鶴基成	サン総合法律事務所	客員弁護士
	アウロラ債権回収株式会社	社外取締役
	SBIインシュアランスグループ株式会社	社外監査役
取締役 ビリー・ウェード・ワイルダー	MATT.ER K.K	Senior Consultant & Chief Investment Officer
取締役 山澤光太郎	イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役
	ウイングアーク1st株式会社	社外取締役
	HiJoJo Partners株式会社	社外取締役
監査役 長野和郎	株式会社三友システムアプレイザル	社外監査役
	守山乳業株式会社	顧問
監査役 小竹正信	ジャパンネクスト証券株式会社	社外監査役
	SBIプライム証券株式会社	監査役
	SBIインベストメント株式会社	監査役
	SBIネオファイナンシャルサービス株式会社	監査役

(注) SBIインシュアランスグループ株式会社およびSBIプライム証券株式会社、SBIインベストメント株式会社、SBIネオファイナンシャルサービス株式会社は、当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の子会社であります。その他、社外役員の上記の兼職先と当社の間には、特段の関係はありません。

##### ② 当社または当社の主要取引先等特定関係事業者の業務執行取締役等との親族関係

該当事項はありません。

##### ③ 社外役員が当社の親会社または当社の親会社の子会社（当社を除く）から受けた役員報酬等の額

社外取締役および社外監査役が、役員を兼任する当社の親会社または当社の親会社の子会社（当社を除く）から当事業年度に役員として受けた報酬等の総額は3,600千円であります。

#### ④ 当事業年度における主な活動状況

1) 取締役会および監査役会への出席状況および発言状況等

	活 動 状 況
社外取締役 大鶴基成	当事業年度開催の取締役会12回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主に法律的な観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外取締役 ビリー・ウェード・ワイルダー	当事業年度開催の取締役会12回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主にアセットマネジメントの観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外取締役 山澤 光太郎	取締役就任後に開催の取締役会10回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主にアセットマネジメントの観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外取締役 堀江 明弘	当事業年度開催の取締役会10回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主に経理・管理業務の観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外監査役 長野和郎	当事業年度開催の取締役会12回のすべてに出席し、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行ないました。また、当事業年度開催の監査役会12回のすべてに出席し、適宜必要な発言を行ないました。
社外監査役 小竹正信	当事業年度開催の取締役会12回のすべてに出席し、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行ないました。また、当事業年度開催の監査役会12回のうち11回に出席し、適宜必要な発言を行ないました。

- 2) 社外役員の意見により変更された事業方針等  
該当事項はありません。
- 3) 当社の不祥事に関する対応の概要  
該当事項はありません。

#### ⑤ 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外役員は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、100万円または法令に定める最低責任限度額のいずれか高い額となります。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第26期 2023年3月31日現在
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>13,991,911</b>
現金及び預金	2,137,894
売掛金	1,483,903
棚卸資産	1,386
未収入金	9,409,529
その他	959,197
<b>固定資産</b>	<b>7,355,867</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>345,777</b>
建物附属設備	64,462
工具、器具及び備品	28,027
使用権資産	253,288
<b>無形固定資産</b>	<b>2,579,790</b>
のれん	1,676,585
ソフトウェア	863,429
その他	39,775
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,430,299</b>
投資有価証券	3,871,154
繰延税金資産	416,769
その他	142,375
<b>繰延資産</b>	<b>8,587</b>
株式交付費	8,587
<b>資産合計</b>	<b>21,356,365</b>

科目	第26期 2023年3月31日現在
<b>負債の部</b>	
<b>流動負債</b>	<b>4,353,823</b>
買掛金	62,753
未払金	1,010,877
短期リース債務	50,646
未払法人税等	2,709,257
未払消費税等	12,179
その他	508,107
<b>固定負債</b>	<b>202,641</b>
長期リース債務	202,641
<b>負債合計</b>	<b>4,556,464</b>
<b>純資産の部</b>	
<b>株主資本</b>	<b>16,213,329</b>
資本金	3,363,635
資本剰余金	4,514,168
利益剰余金	8,335,546
自己株式	△20
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>267,713</b>
その他有価証券評価差額金	13,440
為替換算調整勘定	254,273
<b>非支配株主持分</b>	<b>318,858</b>
<b>純資産合計</b>	<b>16,799,901</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>21,356,365</b>

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第26期
	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	8,747,113
売上原価	4,221,253
売上総利益	4,525,860
販売費及び一般管理費	2,694,721
営業利益	1,831,139
営業外収益	647,285
受取利息	143,396
受取配当金	462,017
投資有価証券売却益	18,494
その他	23,377
営業外費用	19,481
為替差損	232
株式交付費	10,416
その他	8,832
経常利益	2,458,942
特別利益	8,000,000
ブランド返還収入	8,000,000
特別損失	2,339,352
組織再編費用	224,468
投資有価証券売却損	1,565,298
投資有価証券評価損	2,562
減損損失	433,072
無形固定資産除却損	98,289
事務所移転費用	9,736
暗号資産評価損	5,924
税金等調整前当期純利益	8,119,590
法人税、住民税及び事業税	2,875,940
法人税等調整額	△323,128
当期純利益	5,566,778
非支配株主に帰属する当期純利益	123,758
親会社株主に帰属する当期純利益	5,443,020

# 株主総会参考書類

基準日までに書面交付請求をいただいた株主様に郵送いたしました添付書類では、法令および当社定款第15条の規定に基づき、株主総会参考書類のうち、5ページに記載の各事項は記載しておりません。それらの事項については、5ページに記載の当社企業情報サイト等をご確認ください。なお、株主総会参考書類については、基準日までに書面交付請求をいただいていない株主様に対しても、書面交付請求をいただいた株主様と同じ内容を記載しております。

## 第1号議案 取締役6名選任の件

現任取締役6名全員が、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。

プライム市場上場企業に相応しいコーポレート・ガバナンス体制とするため、独立社外取締役候補者が4名となる6名の取締役選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位・担当
1	あさ くら とも や 朝 倉 智 也	代表取締役執行役員社長 <b>再任</b>
2	きた お よし たか 北 尾 吉 孝	取締役 <b>再任</b>
3	おお つる もと なり 大 鶴 基 成	社外取締役 <b>再任</b> <b>独立</b> <b>社外</b>
4	Billy Wade Wilder ビリー・ウェード・ワイルダー	社外取締役 <b>再任</b> <b>独立</b> <b>社外</b>
5	やま ざわ こう た ろう 山 澤 光 太 郎	社外取締役 <b>再任</b> <b>独立</b> <b>社外</b>
6	ほり え あき ひろ 堀 江 明 弘	社外取締役 <b>再任</b> <b>独立</b> <b>社外</b>

# 1. あさくらともや 朝倉 智也

(1966年3月16日生) 所有する当社の株式数 378,400株

再任

## 略歴、当社における地位および担当

1989年4月	(株)北海道拓殖銀行 入社	2012年6月	SBIホールディングス(株) 取締役執行役員常務
1995年6月	ソフトバンク(株) (現ソフトバンクグループ(株)) 入社	2012年7月	当社 代表取締役執行役員社長 (現任)
1998年11月	当社 入社	2013年6月	SBIホールディングス(株) 取締役執行役員専務
2000年3月	当社 取締役	2015年11月	SBIグローバルアセットマネジメント(株) 代表取締役社長兼CEO
2004年7月	当社 代表取締役社長	2018年6月	SBIホールディングス(株) 取締役専務
2005年12月	当社 代表取締役執行役員COO	2019年2月	Carret Holdings, Inc. Director (現任)
2007年6月	SBIホールディングス(株) 取締役執行役員	2021年12月	住信SBIネット銀行(株)取締役 (現任)
2011年4月	SBIアセットマネジメント(株) 取締役 (現任)	2022年6月	SBIホールディングス(株)取締役副社長 (現任)

## 重要な兼職の状況

SBIホールディングス株式会社	取締役副社長	SBIエステートファイナンス株式会社	取締役
ウエルスアドバイザー株式会社	代表取締役社長	SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社	取締役
SBIアセットマネジメントグループ株式会社	取締役	SBIインシュアランスグループ株式会社	取締役
SBIアセットマネジメント株式会社	取締役	SBIネオファイナンシャルサービシーズ株式会社	取締役
Carret Holdings, Inc.	Director	住信SBIネット銀行株式会社	取締役
SBIエナジー株式会社	取締役	岡三アセットマネジメント株式会社	取締役
SBI地域事業承継投資株式会社	取締役		

## 取締役候補者とした理由

朝倉智也氏は、投資信託ほか金融商品に関する卓越した見識と豊富な経験を有し、当社設立時から事業の中心人物として活動してきました。2004年7月からは代表取締役として優れた経営手腕を発揮し、当社グループの強固な事業基盤を築いてまいりました。また、経営全般に関する幅広い見識と豊富な経験を有し、今後も、当企業グループの持続的な企業価値向上に必要な不可欠であると判断したため、引き続き同氏を取締役候補者といたしました。

## 2. きた お よし たか 北尾 吉孝 (1951年1月21日生) 所有する当社の株式数 183,200株

再任

### 略歴、当社における地位および担当

1974年 4月	野村證券(株) 入社	2006年 3月	当社取締役執行役員CEO
1995年 6月	ソフトバンク(株) (現ソフトバンクグループ(株)) 常務取締役	2012年 6月	SBIホールディングス(株) 代表取締役執行役員社長
1998年 4月	当社代表取締役社長	2012年 7月	当社取締役 (現任)
1999年 7月	ソフトバンク・インベストメント(株) (現 SBIホールディングス(株)) 代表取締役社長	2018年 6月	SBIホールディングス(株) 代表取締役社長
		2022年 7月	SBIホールディングス(株) 代表取締役会長兼社長 (現任)

### 重要な兼職の状況

SBIホールディングス株式会社	代表取締役会長兼社長	SBI地域事業承継投資株式会社	代表取締役会長
株式会社SBI証券	代表取締役会長	SBI Hong Kong Holdings Co., Limited	Representative Director
SBIインベストメント株式会社	代表取締役執行役員会長兼社長	SBIデジタルアセットホールディングス株式会社	代表取締役会長
SBIファーマ株式会社	代表取締役執行役員社長	SBI PTSホールディングス株式会社	代表取締役会長
SBIアセットマネジメントグループ株式会社	代表取締役社長	大阪デジタルエクスチェンジ株式会社	代表取締役会長
地方創生パートナーズ株式会社	代表取締役社長	SBIクリプトインベストメント株式会社	代表取締役
SBI金融経済研究所株式会社	代表取締役社長	SBIファイナンシャルサービス株式会社	取締役会長
SBIキャピタルマネジメント株式会社	代表取締役社長	SBIリクイディティ・マーケット株式会社	取締役会長
SBIウェルネスバンク株式会社	代表取締役会長	株式会社ネクシィーズ・トレード	取締役会長
株式会社SBI BITS	代表取締役会長	SBI Ripple Asia株式会社	取締役会長
SBI Crypto株式会社	代表取締役会長		

### 取締役候補者とした理由

北尾吉孝氏は、当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の代表取締役会長兼社長として卓越した経営手腕を発揮し、証券・銀行・保険と広範囲にわたる金融サービス事業において、インターネット金融を中心とした金融コングロマリットを構築したほか、国内外に展開するアセットマネジメント事業やバイオ関連事業を牽引するなどSBIグループの強固な事業基盤を築いてまいりました。また、金融に関する深い知識と実務経験および社外の幅広い人脈を持っており、当社の経営に対して総合的な助言をいただいております。今後も、当企業グループの持続的な企業価値向上に必要な不可欠であると判断したため、引き続き同氏を取締役候補者としたしました。

### 3. おお つる もと なり 大 鶴 基 成 (1955年3月3日生) 所有する当社の株式数 一株

再任

独立

社外

#### 略歴、当社における地位および担当

1980年 4月	検事任官	2011年 8月	最高検公判部長、検事退官 弁護士登録（第一東京弁護士会）
2000年 6月	東京地検特別捜査部副部長（財政経済担当）		サン総合法律事務所所属 客員弁護士（現任）
2001年 4月	法務省刑事局公安課長、司法試験委員		
2002年 8月	東京地検特別捜査部副部長（特殊直告担当）	2012年 7月	アウロラ債権回収(株)社外取締役（現任）
2005年 4月	東京地検特別捜査部長	2014年 1月	一般社団法人日本野球機構 調査委員長（現任）
2007年 1月	函館地検検事正	2014年 6月	イオンフィナンシャルサービス(株)社外取締役
2008年 1月	最高検検事（財政経済担当）	2015年 6月	当社 社外取締役（現任）
2010年 3月	東京地検次席検事	2017年 3月	SBIインシュアランスグループ(株)社外監査役（現任）

#### 重要な兼職の状況

サン総合法律事務所	客員弁護士	SBIインシュアランスグループ株式会社	社外監査役
アウロラ債権回収株式会社	社外取締役	一般社団法人日本野球機構	調査委員長

#### 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

大鶴基成氏は、検事、弁護士としての豊富な知識と経験を有し、法務・コンプライアンスを中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実に貢献することができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、引き続き同氏を社外取締役候補者とするものであります。

### 4. Billy Wade Wilder (1950年2月6日生) ビリー・ウェード・ワイルダー 所有する当社の株式数 一株

再任

独立

社外

#### 略歴、当社における地位および担当

1986年 4月	シュローダー証券会社 日本株調査部長	2014年 9月	MATT.ER K.K., Senior Consultant & Chief Investment Officer（現任）
1992年12月	フィデリティ投信(株) 入社		
1995年 9月	同社 代表取締役社長	2016年 4月	マネックスグループ(株) 社外取締役
2004年 7月	日興アセットマネジメント(株) 代表取締役社長	2016年 4月	Prospect Co., Advisor
2014年 1月	GIC証券(株) (現GIキャピタル・マネジメント(株)) 取締役	2019年 6月	当社 社外取締役(現任)

#### 重要な兼職の状況

MATT.ER K.K.	Senior Consultant & Chief Investment Officer
--------------	--

#### 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

ビリー・ウェード・ワイルダー氏は、約31年間の国内の資産運用会社の経営経験があり、日本の資産運用業について豊富な知識と経験を有しています。また、上場企業の社外取締役の経験もあります。アセットマネジメント事業を中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実に貢献することができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、引き続き社外取締役候補者とするものであります。



## 5. やまざわ こうたろう (1956年10月8日生) 山澤 光太郎

所有する当社の株式数 一株

再任

独立

社外

### 略歴、当社における地位および担当

1980年 4月	日本銀行 入行	2017年 6月	株式会社東京商品取引所 社外取締役
1998年 5月	同行大阪支店 営業課長	2018年 9月	ウイングアーク1st株式会社 社外監査役
2000年 7月	同行人事部 人事課長	2019年 6月	イオンフィナンシャルサービス株式会社 社外取締役 (現任)
2004年 3月	同行函館支店長	2019年11月	ウイングアーク1st株式会社 社外取締役 (現任)
2010年 4月	株式会社大阪証券取引所 取締役常務執行役員	2020年 5月	HiJoJo Partners株式会社 社外取締役 (現任)
2013年 1月	株式会社日本取引所グループ 常務執行役	2021年 7月	株式会社アグリメディア 常勤監査役
2014年 6月	株式会社日本取引所グループ 専務執行役 株式会社大阪証券取引所 取締役専務執行役員	2022年 6月	当社 社外取締役 (現任)
2015年 4月	株式会社大阪取引所 取締役副社長		
2017年 6月	イオンフィナンシャルサービス株式会社 社外監査役		

### 重要な兼職の状況

イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役	HiJoJo Partners株式会社	社外取締役
ウイングアーク1st株式会社	社外取締役		

### 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

山澤光太郎氏は、日本銀行、大阪取引所で金融や証券業務に関する豊かな経験と知識を培っており、また、その経営者として深い見識を活かして、アセットマネジメント事業を中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コンプライアンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、社外取締役候補者とするものであります。

## 6. ほり え あき ひろ (1959年11月3日生) 所有する当社の株式数 一株 堀江 明弘

再任

独立

社外

### 略歴、当社における地位および担当

1989年10月	太田昭和監査法人 (現EY新日本有限責任監査法人) 入所	2008年 4月	株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティング 取締役 (現任)
1993年 4月	公認会計士登録	2016年 6月	株式会社ツクイスタッフ 社外監査役
2002年 7月	税理士法人ブレイン総合会計 代表社員	2018年 6月	同社 社外取締役 (監査等委員)
2006年12月	株式会社パートナーズ・ホールディングス 取締役	2022年 6月	当社 社外取締役 (現任)

### 重要な兼職の状況

株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティング	取締役
---------------------------	-----

### 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

堀江明弘氏は、公認会計士、税理士として培った会計・税務・監査についての豊富な知識と経験を有しており、経理・管理業務を中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、社外取締役候補者とするものであります。

## 第2号議案 補欠監査役1名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第3項の規定に基づき、補欠の社外監査役1名を選任することをお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、あらかじめ監査役会の同意を得ております。

補欠の監査役候補者は次のとおりであります。

かみ やま とし ゆき  
神山 敏之

(1953年10月28日生) 所有する当社の株式数 一株

再任

独立

社外

### 略歴

1978年4月	(株)富士銀行(現(株)みずほ銀行)入社	2010年4月	Philippine National Bank 東京支店長兼在日代表
2001年5月	同行 資金部長	2013年4月	SBIバイオテック(株) 常勤監査役
2002年4月	(株)みずほコーポレート銀行 (現(株)みずほ銀行) 市場企画部欧州資金室長	2016年6月	当社補欠監査役(現在に至る)
2004年4月	(株)みずほ銀行 市場営業部長	2017年3月	SBI少短保険ホールディングス(株)監査役
2007年7月	みずほインベスターズ証券(株) (現(株)みずほ証券(株)) 執行役員(金融商品開発部 担当、債権部・営業企画部副担当)		SBIインシュアランスグループ(株) 常勤監査役(現任)

### 重要な兼職の状況

SBIインシュアランスグループ株式会社 常勤監査役

### 補欠の社外監査役候補者とした理由

神山敏之氏は、長年にわたり金融および企業経営に関する経験を積み重ね、豊富な経験と幅広い見識を有しており、当社の経営の監督に十分な役割を果たしていただけるものと判断し、補欠の社外監査役として選任をお願いするものであります。

以上

